床置形据付説明書

本説明書は、室内ユニットの据付方法を記載してあります。
電気配線工事の方法は、裏面の電気配線工事の説明書をご覧ください。
室外ユニットの据付方法及び冷媒配管工事方法は、室外ユニット付属の説明書をご覧ください。

PGA012D100

安全上の注意

●据え付け工事は、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ確実に行ってください。
●ここに示した注意事項は、 ⚠警告 、 ⚠注意 に区分していますが、誤った据え付けをした時に、死亡や重傷等の重大な結果に結び付く可能性が大きいものを特に ⚠警告 の欄にまとめて記載しています。しかし、 ⚠注意 の欄に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
●据え付け工事完了後、試験運転を行い異常がないことを確認するとともに取扱説明書にそって お客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。また、この据付説明書は、取扱説明書と共にお客様で保管頂くように依頼してください。

⚠ 警 告

●据え付けは、お買上げの販売店又は専門業者に依頼してください。ご自分で据え付け工事をされ不備があると水漏れや感電、火災の原因になります。
●据え付け工事はこの据え付け説明書に従って確実に行ってください。据え付けに不備があると、水漏れや感電、火災の原因になります。
●冷媒ガスが漏れた時、室内の冷媒濃度が限界濃度を超える恐れのある場合は、対策が必要です。限界濃度を超えない対策については販売店と相談して据え付けてください。万一、冷媒が漏洩して限界濃度を超えると酸欠事故につながる恐れがあります。
●据え付けは、重量に十分耐える所に確実に行ってください。強度が不足している場合は、ユニットの落下により、ケガの原因になります。
●台風などの強風、地震に備え、所定の据え付け工事を行ってください。据え付け工事に不備があると、転倒などによる事故の原因になることがあります。
●電気工事は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規定」及び据付説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用してください。電源回路容量不足や施工不備があると感電、火災の原因になります。
●配線は所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定してください。接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災の原因になります。
●配線は、浮き上がらないように整形し、リッド・サービスパネルを確実に取り付けてください。取り付けが不完全な場合は、発熱、火災の原因になります。
●エアコンの設置や移設の場合、冷凍サイクル内に指定冷媒以外の空気等を混入させないでください。空気等が混入すると、冷凍サイクル内が異常に高圧になり破裂、ケガの原因になります。
●設置工事部品は、必ず付属部品および指定の部品を御使用ください。当社指定品を使用しない場合は、水漏れや感電、火災、冷媒漏れの原因になります。
●作業中に冷媒ガスが漏れた場合は換気をしてください。
冷媒ガスが火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。
●設備工事終了後、冷媒ガスが漏れていないことを確認してください。
冷媒ガスが室内に漏れ、ファンヒーター、ストーブ、コンロなどの火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。

⚠ 注 意

●アースを行ってください。アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は感電の原因になることがあります。
●設置場所によっては漏電ブレーカーの取り付けが必要です。
漏電ブレーカーが取付けられていないと感電や火災の原因になることがあります。
●可燃性ガスの漏れる恐れのある場所への設置は行わないでください。
万一ガスが漏れてユニットの周囲に溜まると、発火の原因になることがあります。
●ドレン配管は、据付説明書に従って確実に排水するよう配管し、結露が生じないよう保温してください。配管工事に不備があると、水漏れし、家財等を濡らす原因になることがあります。

工事完了後、これだけは再チェック願います。

チェック項目	不良だと	チェック欄
室内外のユニットの取り付けはしっかりしていますか。	落下・振動・騒音	
ガス漏れ検査は行いましたか。	冷えない、暖まらない	
断熱は完全に行いましたか。	水漏れ	
ドレンはスムーズに流れていますか。	水漏れ	
電源電圧は本体に表示の銘板と同じですか。	運転不能・焼損	
誤配線・誤配管はありませんか。	運転不能・焼損	
アース工事はされていますか。	漏電時危険	
電線の太さは仕様どおりですか。	運転不能・焼損	
室内外ユニットの吸込・吹出口が障害物でふさがれていませんか。	冷えない、暖まらない	

〈お願い事項〉

○取扱説明書を見ながら、お客様に実際に操作していただき、正しい運転のしかた（特にエアフィルタの清掃、運転操作のしかた、温度調節の方法）をご指導ください。
○長時間使用しない時は、電源スイッチを切るようにお客様にご指導ください。
電源スイッチを入れたままにしておきますと、クランクケースヒータ等に通電されエアコンを使用しなくても電力を消費することになります。

お願い

○下記に示すような場所での据付、及び使用は、避けてください。
(1) 病院などの電磁波を発生する機器の近く、高周波の発生する機器の近く。ノイズ発生によるコントローラの誤動作の原因となります。
(2) 潮風が当たる所（海浜地区）。外板、熱交の腐食の原因となります。
(3) 油の飛沫や蒸気の多い所（例：調理場、機械工場）、外気が流入しやすい所での据え付け、使用は避けてください。熱交換機の性能低下・腐食、プラスチック部品の破損の原因となります。
(4) 腐食性ガス（亜硫酸ガスなど）、可燃性ガス（シンナー、ガソリンなど）の発生、滞留の可能性のある場所。揮発性引火物を取り扱う所での据え付け、使用は避けてください。熱交の腐食、プラスチック部品の破損の原因となります。又、可燃性ガスは発火の原因になることがあります。
○溶接作業時などに発生するスパッタが本ユニットにあたった場合、ユニットに損傷を与える可能性があります。ユニットの近くで溶接作業を行う場合は十分な注意をお願いするとともに、ユニット内へのスパッタの進入を防ぐため梱包状態のままとしてください。

⚠ 注意

○下記に据付け上の注意事項を示しますので必ずお守りください。
●直射日光の当たる所にリモコンを設置しないでください。リモコンの故障や変形の原因になることがあります。
●アースを取ってください。アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、誤動作や感電の原因になることがあります。
●漏電ブレーカの取り付けが必要です。漏電ブレーカが取り付けられていないと感電や火災の原因となることがあります。
●エアコンの重量に十分耐えられる場所に確実に設置してください。据付けに不備があるとユニットの落下によるケガや振動運転音増大の原因になります。
●冷媒ガスが漏れた時、室内の冷媒濃度が限界濃度（0.3kg／m^3）を越える恐れのある場合は、窒息防止のために隣室との間の開口部やガス漏れ検知警報と連動する機械換気設置等の取付けが必要となりますので、お買上げの販売店にご相談ください。

据付のまえに

○据付はこの据付説明書に従って正しく行なってください。
○工事計画にあっておりますか。

機種・電源仕様
確認してください
配管・配線・小物部品

付属品

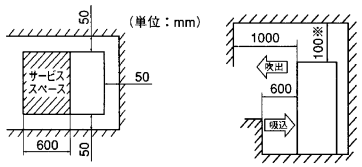
据付関係　注）記号１、６は梱包金具兼用です。

1	転倒防止金具		1個		4	座金		2個	記号3木ネジ用	7	付属配管セット		1セット	右、後、(下)抜き用
2	タッピンネジ		5個	記号1用（内3個予備）	5	ゴムブッシュ		1個	冷媒･ドレン配管用					
3	木ネジ		2個	記号1用	6	L金具		2個	本体(下部)固定用					

据付場所の選定

（室内機）

据付スペース　下記に示す寸法以上取ってください。



※加湿器を取り付けた場合は500以上取ってください。

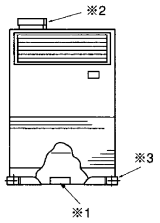
⚠警告

●据え付けは、重量に十分に耐える所に確実に行ってください。強度不足や取り付けが不完全な場合には、ユニットの落下により、ケガの原因になります。

お願い
●点検、メンテナンス作業のためのスペースを確保してください。

お願い　据付場所は下記条件に合う場所をお客様の承認を得て選んでください。

●冷風または温風が十分行きわたる所。
●室外への配管、配線のしやすい所。
●ドレン排水が完全にできる所。
●据付部の床が強固である所。
●直射日光のあたらない所。
●吸込口、吹出口に風の障害のない所。
●火災報知機の誤動作しない所。ショートサーキットしない所。



付属品収納場所（梱包時）

※１．吸込グリルを開けると据付関係の２～５および７の部品が袋詰めされ、後面板にテープ止めされています。
※２．梱包金具と兼用になっていてユニットを木台に固定しています。（据付関係１、固定ネジ１ヶ所）
※３．梱包金具と兼用になっていてユニットを木台に固定しています。（据付関係６、固定ネジ左右１ヶ所）

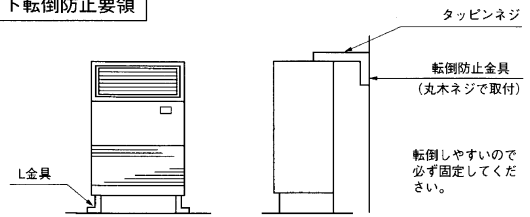
ユニットの搬入、据付

搬　入

お願い

●搬入時は、できるだけ据付現場の近くまで、梱包のまま搬入してください。
●やむをえず解梱して搬入する場合は、ナイロンスリングなどで包みユニットを傷つけないよう注意してください。
注）吸込グリル、吹出ルーバ等プラスチック部分を持たないでください。
●解梱後、ユニットを置く場合は、必ずユニット前面側を上にして置いてください

ユニット転倒防止要領



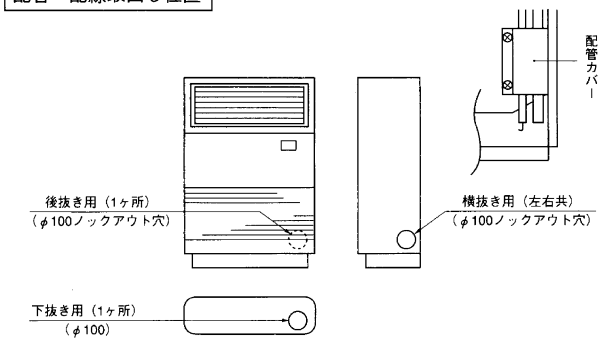
お願い

●ユニットは水平に据付けてください。
前後、左右共勾配は１°以内としてください。

冷媒配管

は室外ユニット付属の説明書をご覧ください。

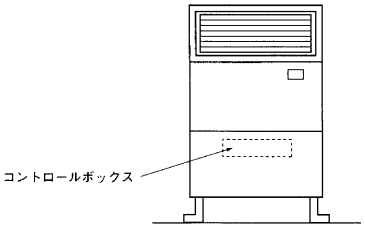
配管・配線取出し位置



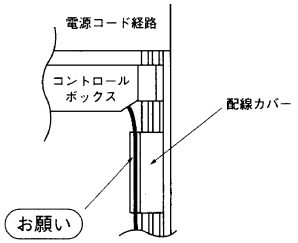
お願い

- **●配管部に取り付けてある配管カバー（タッピンネジ2ヶ所固定）を必ず外して施工してください。**
- ●右抜きの場合の付属の据付関係7の付属配管セットを使用してください。左、ド、後抜きの場合は、付属配管セットの配管を流用して配管セットに付属の説明書に従って、施工してください。
- **●配管施工後、配管カバーは必ず取り付けてください。取り付けないと配管のふくらみにより吸込グリルが付かないことがあります。**
- ●ロー付時にドレンホースを焼かないようご注意ください。その他機種で万一ロー付する場合も同様にご注意ください。

コントロールボックス位置及び電源コード経路



●吸込グリルを開けると上図に示す場所にコントロールボックスが有ります。
カバーを外して施工してください。



電源コードは必ず配管カバーの横を通してください。
配管カバーの内にはいれないでください。

ドレン配管

⚠警告

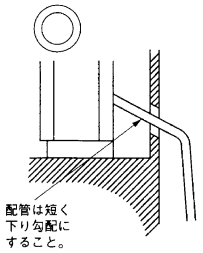
ドレン配管はイオウ系ガス等有毒ガスの発生する排水溝に直接いれないでください。室内に有毒ガスが侵入する恐れがあります。

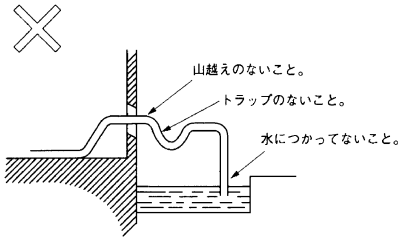
⚠注意

ドレン配管は、据付説明書に従って確実に排水するように配管し、結露が生じないよう保温してください。配管工事に不備があると水漏れし、家財等を濡らす原因になることがあります。

お願い

- ●ドレン配管は結露が生じないよう保温してください。（特に室内及びユニット内）
- ●ドレン配管は下り勾配（1/50～1/100）とし途中山越えやトラップを作らないようにしてください。
- ●ドレン配管は市販の硬質塩ビパイプVP−20を使用してください。





電気配線工事

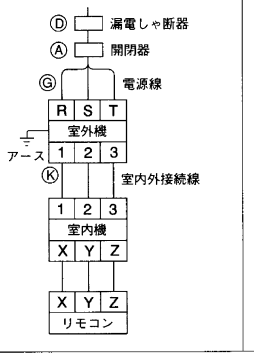
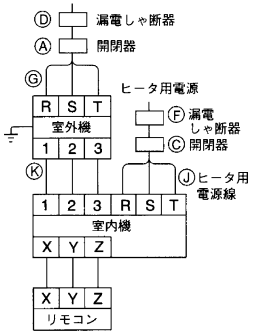
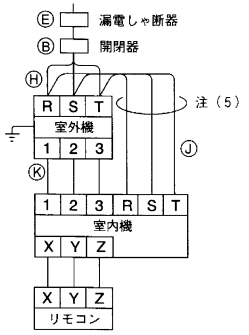
電気配線工事は電気設備技術基準及び内線規定に従い、電力会社の認定工事店で行ってください。

Ⓐ 電源・室内外接続線

お願い
室内外接続線は3心ケーブルを使用してください。

シングル機の結線

①電源の取り方は下表の接続パターンから選定し、行ってください。室内電源取り及び室内外別電源取りはできません。(ヒータ用電源は除く)
※例外的な接続方法の場合は所轄の電力会社にご相談の上指示に従ってください。
②室内外接続線は極性がありますので、必ず同一端子台番号間を接続してください。

	ヒータレス	ヒータ後付時	
		標準的な接続方法	例外的な接続方法
3相機			

開閉器・配線仕様

注 (1) 配線こう長は、電圧降下2%とした場合を示します。表示の配線こう長を越える場合は、内線規定により配線太さを見直してください。
Ⓚの記載なき欄の配線こう長は50mです。
(2) 室内外接続線Ⓚは総長70mまでとしてください。

〈標準機：ヒータレス〉

室外形式		漏電しゃ断器（A）	開閉器（A）	配線太さφmm又はmm²（配線こう長）注（1）		アース線	
		Ⓓ	Ⓐ	Ⓖ	Ⓚ 注(2)	太さ φmm又は mm²	ねじ
3相	224	50A 100mA, 0.1秒以下	50	8 (24)	φ1.6 (49)	φ2.0	M5
	280	60A 100mA, 0.1秒以下	60	14 (31)	φ1.6 (43)	5.5	M6

〈インバータ：ヒータレス〉

室外形式		漏電しゃ断器（A）	開閉器（A）	配線太さφmm又はmm²（配線こう長）注（1）		アース線	
		Ⓓ	Ⓐ	Ⓖ	Ⓚ 注(2)	太さ φmm又は mm²	ねじ
3相	224	60A 100mA, 0.1秒以下	60	8 (24)	φ1.6 (43)	5.5	M6
	280		60	14 (31)	φ1.6 (43)	5.5	M6

注 (3) ⒶⒹⒼⓀの仕様については上表のヒータレスと同一です。
(4) 配線こう長は、電圧降下2%とした場合を示します。表示の配線こう長を越える場合は、内線規定により配線太さを見直してください。
Ⓙの記載なき欄の配線こう長は50mです。
(5) 室内外接続線Ⓚとヒータ用電源線Ⓙは必ず別ケーブルとしてください。

〈標準機：ヒータ後付時〉

(50／60Hz)

室外形式		漏電しゃ断器（A）		開閉器（A）		配線太さφmm又はmm²（配線こう長）注（4）		アース線	
		Ⓔ	Ⓕ	Ⓑ	Ⓒ	Ⓗ	Ⓙ 注(5)	太さ φmm又は mm²	ねじ
3相	224	50A／60A 100mA, 0.1秒以下	15A 30mA, 0.1秒以下	50／60	30	8／14 (22／34)	φ2.0 (23／22)	φ2.0／5.5	M5/M6
	280	75A 100mA, 0.1秒以下	30A 30mA, 0.1秒以下	100	30	14 (30／27)	5.5 (33／33)	5.5	M6

〈インバータ：ヒータ後付時〉

室外形式		漏電しゃ断器（A）		開閉器（A）		配線太さφmm又はmm²（配線こう長）注（4）		アース線	
		Ⓔ	Ⓕ	Ⓑ	Ⓒ	Ⓗ	Ⓙ 注(5)	太さ φmm又は mm²	ねじ
3相	224	60A 100mA, 0.1秒以下	20A 30mA, 0.1秒以下	60	30	14 (30)	φ2.0 (27)	5.5	M6
	280	75A 100mA, 0.1秒以下		60	30	14 (24)	φ2.0 (27)	5.5	M6

Ⓑ コントローラ

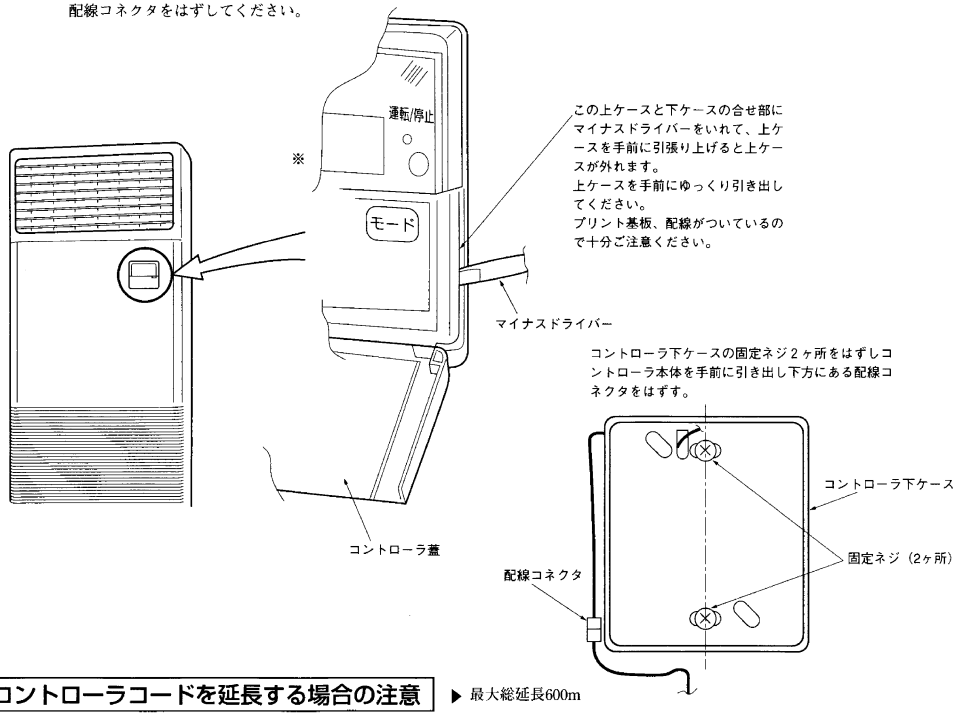
コントローラの点検方法

●万一のトラブルによりコントローラを取りはずす方法

1．フロントパネル右上のコントローラの蓋をあけてください。

2．※下図に従い、上ケースを外し手前にゆっくり引き出してください。プリント基板、配線がついているので十分ご注意ください。

3．パネル内部コントローラ下ケースの固定ネジ2ヶ所をはずし、コントローラ本体を手前に引き出し、下方にある配線コネクタをはずしてください。



コントローラコードを延長する場合の注意

▶ 最大総延長600m

コードは必ずシールド線を使用してください。

●全形式：0.3mm²×3心［MVVS3C（京阪電線）］

注（1）延長距離が100mを超える場合は下記のサイズに変更してください。

100～200m以内……0.5mm²×3心

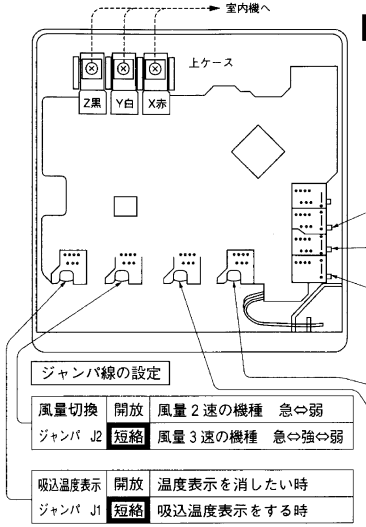
～300m以内……0.75mm²×3心

～400m以内……1.25mm²×3心

～600m以内……2.0mm²×3心

●シールド線は必ず片方のみをアースしてください。

Ⓒ 機能の設定



囲み工場出荷時の設定

切換スイッチの設定（基板側面）

スイッチ	設定	機能の内容
機種切換	冷	冷房専用機に使用する時
SW1	ヒ	ヒートポンプ機対応
リモコンセンサ	有	リモコンセンサを使用する時
SW2	無	無効（室内機センサー有効）
停電補償	有	停電補償機能有効にする時
SW3	無	無効（停電時は初期設定）
リモコン	子	子リモコン（親子リモコン制御）
SW4	親	親リモコン

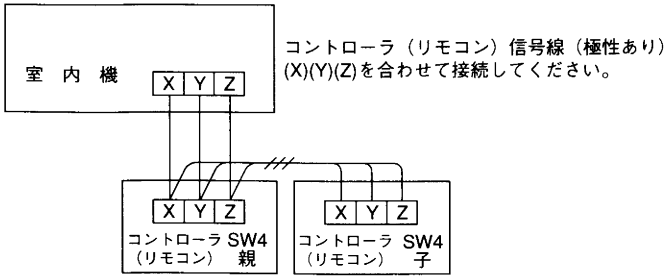
ジャンパ線の設定

風量切換	開放	風量２速の機種　急⇔弱
ジャンパ　J2	短絡	風量３速の機種　急⇔強⇔弱
吸込温度表示	開放	温度表示を消したい時
ジャンパ　J1	短絡	吸込温度表示をする時
スイング表示	開放	ルーバー位置表示をしない
ジャンパ　J4	短絡	ルーバー位置表示をします
タイマ機能	開放	タイマーを無効にする時
ジャンパ　J3	短絡	タイマー機能を選択できます

Ⓓ 複数コントローラ（リモコン）使用時の親子設定

室内ユニット1台（又は1グループ）に対して最大2個までのコントローラ（リモコン）を接続できます。

①子コントローラ（リモコン）のコントローラ（リモコン）連結線（3心）は室内ユニットから取る方法と親コントローラ（リモコン）からの渡り配線による方法があります。



②子コントローラ（リモコン）の切換スイッチSW4を子に設定してください。工場出荷時は親設定です。

（注）コントローラ（リモコン）センサ有効設定は親コントローラ（リモコン）のみ可能です。親コントローラ（リモコン）を室温検知させる位置に取付けてください。

Ⓕ 冷房試運転操作

コントローラ（リモコン）を次の手順で操作してください。

①「運転」ボタンを押して、運転する。

②「モード」スイッチにより冷房を選択する。

③「▽」スイッチと「セット」スイッチを同時に押す。
設定温度が5℃になり、室温表示部が、室内熱交温度情報に変わります。

表 示	室内熱交温度
n3	24℃以上
n2	16～24℃
n1	8～16℃
n0	8℃以下

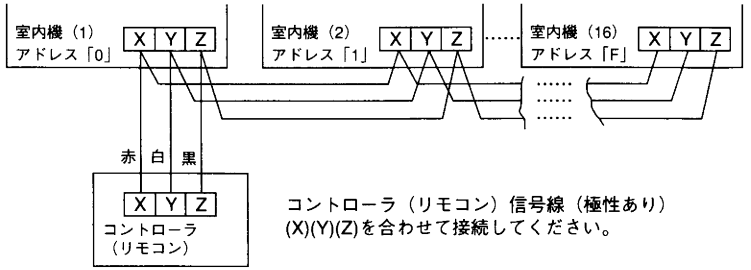
●試運転時、正常に動作しない場合は、室内・外ユニットに貼付の結線銘板の点検表示を参照し、点検してください。

Ⓔ 1コントローラ（リモコン）による複数台室内ユニット制御

室内ユニット最大16台まで接続可能です。

①各室内ユニット間を3心のコントローラ（リモコン）線にて渡り配線してください。延長コントローラ（リモコン）線については、前記の項〔コントローラ（リモコン）コードを延長する場合の注意〕をご覧ください。

②室内基板上のロータリースイッチSW1により、コントローラ（リモコン）通信アドレスを重複しないよう「0」～「F」に設定してください。



③電源投入後、コントローラ（リモコン）の「エアコンNo／点検」スイッチを押し、接続されている室内機アドレスがコントローラ（リモコン）に表示されることを必ず確認してください。